

令和4年度大阪府立吹田東高等学校
第1回学校運営協議会

日 時：令和4年7月12日（火）

場 所：大阪府立吹田東高等学校 会議室

・委員 古本 隆 吹田市立千里丘中学校 校長
竹岡 富美男 さくら北浜法律事務所
城下 英行 関西大学社会安全学部准教授
柏渕 眞理子 東山田青少年対策委員会委員長
和田 大志郎 吹田東高等学校 P T A会長
佐伯 勇 甲南女子大学教授

校 長 東 知佐子 吹田東高等学校 校長
事務局 出口 学 吹田東高等学校 教頭
岡本 秀樹 吹田東高等学校 事務長
村上 明弘 吹田東高等学校 首席
山室 裕 吹田東高等学校 首席

【開会のあいさつ】 「大阪府立吹田東高等学校 校長 東 知佐子」

【実施要項等の確認】 （資料①参照）

本校東校長より説明・確認

【会長・副会長選出】

会長 古本 隆（千里丘中学校校長）
副会長 古川 益美（吹田東高校後援会会長）

【議 事】

◆報告事項

- (1) 令和3年度学校経営計画及び学校評価について （資料②参照）
本校東校長より資料②の説明
- ・「令和3年度学校教育自己診断の結果と分析」について。
 - ・「令和3年度学校運営協議会からの意見」について。
第3回は書面開催で行った。
 - ・「取り組み内容及び自己評価」について。
国公立大学・難関私立大現役合格者数が、高かった昨年度より増加した。

(2) 進路状況について (資料③参照)

本校山室首席より説明

- ・4年生大学進学者の実数は過去5年間210名以上をキープしている。
- ・46期生の80%の生徒が4年生大学へ進学している。
- ・難関大学に多数合格したが、3学期の放課後にも担任団が講習を行うなど、最後まで粘り強く指導した結果が現れた。

Q 委員 摂南大学や追手門学院大学の合格数が大幅に増えたのはなぜか。

A 地方からの受験生が減っているからでないか。
また、本校の生徒は通学しやすく、受験する生徒が多い。

(3) 新入生アンケート結果について (資料④参照)

本校山室首席より説明

- ・毎年1年生対象におこない、49期生は320名を対象におこなった。
- ・全体として数年間大きな変化は無く、同じような傾向。
- ・コロナ禍の影響を受け、9割以上の生徒が「ホームページを見たことがある」と回答している。
- ・吹田東が第一志望である割合は78.8%で過去最高値を更新した。
- ・学校の雰囲気としては「楽しい」と聞いていた生徒の割合が多くなっている。また、「行事が盛ん」の割合が高くなっている。

Q 委員 「いつ来校したか」という回答で48期生までは11月学校説明会が一番多いが、49期生は10月のオープンスクールが一番多くなっているのは理由があるのか。

A オープンスクールは授業参観も行っており、中学生は来校が多いのでは。また、中学生の動きも早くなっていると思われる。

Q 委員 「楽しい」という割合が多くなったということだが、行事で工夫されたりしたことはあるか。

A 厳しい中でも、生徒の意見を取り入れるようになった。

(4) 令和5年度教科書選定について (資料⑤参照)

本校山室首席より説明

- ・観点は例年と同じで、各教科で選ぶ。
- ・調査委員会で6月28日に決定。

(5) 令和4年度学校経営計画について (資料⑥参照)

本校東校長より説明

- ・「中期的目標」は令和3年度から大きく変更していない。
R3に学校経営推進費を活用し、教員の授業力向上と生徒の主体性向上に取り組んだ結果、生徒の授業における満足度が向上した。
- ・「本年度の取組内容及び自己評価」について。
今年度から外部の英語検定を1・2年生全員受験する。

Q 委員 「自他の権利を尊重する態度をはぐくむ」という所で、同性婚の問題等について何か取り組んでいるものがあるか。

また、働き方改革について長時間勤務を減少する取組は行っているのか。

A LGBTQの問題や、性教育としてデートDV等の問題について、生徒に多様な観点で考えてもらうため、同世代の大学生による講義やワークを多様な教材を使って取り組んでいる。
働き方改革については、昨年からチームで働く取り組みを行い、一部の教員に仕事が偏らず、長時間勤務の人数が減少した。また、3年生の3学期の午後の授業を無くし、進学講習や卒業までの取組の時間に充てた。

Q 委員 部活動の指導を外部に委託したりしているのか。

A 文科省が令和5年度から地域に移行するという方針を出しているが、多くの問題点があると思われる。

(6) リーダーシップ研修ならびにルールメイキングの会について

本校東校長より説明

「リーダーシップ研修について」

- ・令和4年度の1年生の「総合的な探究の時間」では企業・甲南女子大学と連携した「リーダーシップ研修」を実施。
- ・現代は、特定のリーダーにのみ「リーダーシップ」の求められる時代ではない。この授業で学んでいるリーダーシップは、「チームの目標達成のために他者に及ぼすプラスの影響力」のことであり、すべての高校生に身に付けてほしい、全員発揮の21世紀型リーダーシップである。
- ・昨年度課外授業として実施していたものを、今年度から1年生全体で取り組んでいる。
- ・前半は文化祭に向けてどのようなリーダーシップが取れるかということについて行った。

「ルールメイキングの会について」

- ・校則や学校行事について、対話しながら生徒が主体的に考え見直す。
- ・昨年、生徒会が生徒全員にアンケートを取り、その中から文化祭と頭髪について考えるということで生徒会と有志の生徒で活動を始めた。
- ・文化祭を2日開催にするため、生徒全員にアンケートを取り、多くの生徒の賛成意見からプレゼンを行い、1.5日開催を実現した。

(7) スクールポリシー・スクールミッションについて

本校東校長より説明

- ・10、20、30年後を見据えたものを2年計画で作成する。
- ・次回の学校運営協議会で承認してもらう。

委員 吹田東高校が来年50周年を迎えるにあたって、それに見合ったものになればと思う。

【諸連絡】

次回 11月下旬 〈予定〉